

# 西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第550号 令和6年3月・4月



『桜宴』 眞鍋 勉

## 目 次

	頁		頁
1) 保健所だより	西多摩保健所 … 2	7) 理事会報告	広報部 … 12
2) 専門医に学ぶ	大場岳彦 … 5	8) 会員通知・医師会の動き	事務局 … 15
3) 学術講演会予定	学術部 … 6	9) お知らせ	事務局 … 21
4) 糖尿病医療連携検討会からの 今月のメッセージ	加計 剛 … 7	10) 2024年度診療報酬請求書提出日一覧表	事務局 … 22
5) 広報だより	神應知道 … 9	11) 表紙のことば	眞鍋 勉 … 23
6) 連載企画	菊池 孝 … 10	12) あとがき	小高哲郎 … 23

## 保健所だより

### 感染症だより 12月

#### 1. 西多摩圏域感染症発生動向

2023年第40週～第43週(10/2-10/29)の間に保健所で受理された感染症について、管内(青梅・福生・羽村・あきる野・瑞穂・日の出・檜原・奥多摩)の医療機関より以下の報告がありました。

##### (1) 全数報告疾患 届出件数

###### 〈二類感染症〉

- ・結核 3件 肺結核3件。年齢は20代1件、30代1件、60代1件。

###### 〈三類感染症〉

- ・腸管出血性大腸菌感染症 1件 無症状病原体保有者1件。年齢は20代。推定感染地は国内、推定感染経路は接触感染。

##### (2) 定点報告疾患 報告件数(定点数:14)

定点種別	疾患名	第40週	第41週	第42週	第43週
		10/2～	10/9～	10/16～	10/23～
インフルエンザ	インフルエンザ(外来)	74	66	106	119
COVID-19	COVID-19	33	40	24	22
小児科	RSウイルス感染症				
	咽頭結膜熱	2	3	6	2
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	3	17	14
	感染性胃腸炎	6	9	15	11
	水痘			1	1
	手足口病	10	8	2	1
	伝染性紅斑				
	突発性発しん	5			1
	ヘルパンギーナ	3	1	3	
	流行性耳下腺炎				
	不明発疹症				
眼科	川崎病				
	急性出血性結膜炎				
	流行性角結膜炎				1
基幹病院	細菌性髄膜炎				
	無菌性髄膜炎				
	マイコプラズマ肺炎				
	クラミジア肺炎				
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)				
	インフルエンザ(入院)				
	合計	140	130	174	172

#### 2. 都内で注目されている定点把握対象疾患 42週(10/16～10/22)時点

- ・インフルエンザの定点当たり報告数は21.74で、前週より増加しており、注意報レベルが続いています。
- ・咽頭結膜熱の保健所別の患者報告数が31保健所中9保健所で警報レベルを超え、保健所管内人口の合計は、東京都全体の33.2%となり警報レベルが続いています。
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は増加傾向です。

文責：西多摩保健所保健対策課

感染症だより 1月
-----------

## 1. 西多摩圏域感染症発生動向

2023 年第 44 週～第 47 週 (10/30-11/26) の間に保健所で受理された感染症について、管内 (青梅・福生・羽村・あきる野・瑞穂・日の出・檜原・奥多摩) の医療機関より以下の報告がありました。

## (1) 全数報告疾患 届出件数

0 件

## (2) 定点報告疾患 報告件数 (定点数: 14)

定点種別	疾患名	第44週	第45週	第46週	第47週
		10/30～	11/6～	11/13～	11/20～
インフルエンザ	インフルエンザ (外来)	170	148	164	183
COVID-19	COVID-19	9	9	8	16
小児科	RS ウイルス感染症				1
	咽頭結膜熱	7	3	8	5
	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	15	15	24	20
	感染性胃腸炎	7	20	22	29
	水痘	1		1	
	手足口病	1	6	4	5
	伝染性紅斑				
	突発性発しん		2		1
	ヘルパンギーナ	2			
	流行性耳下腺炎	1	1		
	不明発疹症				
川崎病					
眼科	急性出血性結膜炎				
	流行性角結膜炎				
基幹病院	細菌性髄膜炎				
	無菌性髄膜炎				
	マイコプラズマ肺炎				
	クラミジア肺炎				
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)				
	インフルエンザ (入院)			1	
	合計	213	204	232	260

## 2. 都内で注目されている定点把握対象疾患 46 週 (11/13 ~ 11/19) 時点

- ・インフルエンザの定点当たり報告数は 12.25 で注意報レベルが続いています。
- ・咽頭結膜炎の定点当たり報告数は、3.51 で警報レベルが継続しています。
- ・A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は 4.86 で、今後の動向に注意が必要です。

文責: 西多摩保健所保健対策課

感染症だより 1月 第2報
---------------

## 1. 西多摩圏域感染症発生動向

2023 年第 48 週～第 51 週 (11/27-12/24) の間に保健所で受理された感染症について、管内 (青梅・福生・羽村・あきる野・瑞穂・日の出・檜原・奥多摩) の医療機関より以下の報告がありました。

## (1) 全数報告疾患 届出件数

## 〈二類感染症〉

- ・結核 6件 肺結核 2件、潜在性結核感染症 4件。年齢は 20代 4件、80代 2件。

## 〈三類感染症〉

- ・腸管出血性大腸菌感染症 1件 無症状病原体保有者 1件。年齢は 30代。推定感染地は国内、推定感染経路は不明。

## 〈四類感染症〉

- ・E型肝炎 1件 60代女性。

## 〈五類感染症〉

- ・梅毒 1件 早期顕症梅毒 I期、20代、男性 1件。推定感染地は国内、推定感染経路は性的接触。

## (2) 定点報告疾患 報告件数 (定点数：14)

定点種別	疾患名	第48週	第49週	第50週	第51週
		11/27～	12/4～	12/11～	12/18～
インフルエンザ	インフルエンザ (外来)	151	310	352	252
COVID-19	COVID-19	46	18	58	33
小児科	RS ウイルス感染症				
	咽頭結膜熱	5	1	9	6
	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	25	9	19	17
	感染性胃腸炎	15	20	35	21
	水痘		1		3
	手足口病	2	4	1	3
	伝染性紅斑				1
	突発性発しん	1	1	1	1
	ヘルパンギーナ			4	
	流行性耳下腺炎			1	
	不明発疹症				
川崎病					
眼科	急性出血性結膜炎				
	流行性角結膜炎				
基幹病院	細菌性髄膜炎				
	無菌性髄膜炎				
	マイコプラズマ肺炎				
	クラミジア肺炎				
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)				
	インフルエンザ (入院)		2	3	1
	合計	245	366	483	338

## 2. 都内で注目されている定点把握対象疾患 51週 (12/18～12/24) 時点

- ・A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の保健所別の患者報告数が 31 保健所中 8 保健所で警報レベルが継続し、保健所管内人口の合計は、東京都全体の 30.0% となり警報レベルが続いています。
- ・インフルエンザの定点当たり報告数は、18.08 で注意報レベルが続いています。
- ・咽頭結膜熱の定点当たり報告数は、2.72 で警報レベルが継続しています。
- ・感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、10.82 で今後の動向に注意が必要です。

文責：西多摩保健所保健対策課



# 専門医に学ぶ 第165回

市立青梅総合医療センター 呼吸器内科 大場 岳彦

【症例】 78 歳男性

【喫煙歴】 20 本 / 日 (20 ~ 60 歳)

【生活環境】 55 ~ 67 歳までカナリアなど飼育歴あり、自宅は木造築 25 年で庭に鳥のエサ場を設置、74 歳まで羽毛布団や羽毛のダウンジャケットを使用

【既往 / 併存症】 心房細動、脂質異常症、高尿酸血症

【常用薬】 ワルファリンカリウム、フルバスタチン、フェブキソスタット、ジゴキシン

【現病歴】 68 歳時、健診で胸部異常陰影を指摘され当院へ紹介された。線維化所見とともに小葉中心性粒状影も認め (図 1)、慢性過敏性肺炎が疑われた。生活環境から鳥関連を疑い、鳥のエサ場の撤去や羽毛製品の使用中止を指示して経過観察したが、その後も間質性肺炎は緩徐に進行し、痰・息切れ・易疲労感が増悪した。74 歳時、診断の再検討のために抗原回避入院や自宅環境調査をおこなった。2 週間の入院による自宅抗原からの隔離により自覚症状の改善や KL-6 の低下などを認め、抗原回避陽性と判断した。患者自宅への訪問調査により、羽毛のダウンジャケットを使い続けていること、自宅周囲の木々へ鳥の飛来があること、近所にレース鳩の飼育場があること、などが判明した。以上から、鳥関連慢性過敏性肺炎と診断した。病気の原因について改めて説明し、羽毛製品の使用は完全に中止した。しかし自宅外の環境への介入は難しく、転居も困難であった。その後も病状は緩徐に進行し、78 歳時にニンテダニブ内服を開始した。

【採血検査所見 (78 歳時)】 (血算) WBC 7120/ $\mu$ l, Hb 12.8g/dl, Plt 14.6 万/ $\mu$ l、(生化学) AST 23U/l, ALT 13U/l, LDH 360U/l, BUN 15.0mg/dl, CRE 0.74mg/dl, CRP 0.75mg/dl, KL-6 2754U/ml, SP-D 805.4、(自己抗体) 抗核抗体 40 倍, MPO-ANCA (-), PR3-ANCA (-), 抗 CCP 抗体 (-), 抗 SS-A/Ro 抗体 (-), 抗 SS-B/La 抗体 (-), 抗 Jo-1 抗体 (-)、(特異抗体) セキセイインコ IgG (+), ハト IgG (-), 抗トリコスポロン・アサヒ抗体 (-)

進行性線維化を伴う間質性肺疾患 (PF-ILD) には、特発性間質性肺炎、膠原病肺、慢性過敏性肺炎、サルコイドーシス、などがある。PF-ILD の治療薬として臨床応用されているニンテダニブは、これらの背景疾患に関わらず肺機能低下を抑制する。しかし、背景疾患によってはステロイドや免疫調整薬なども治療選択肢となる場合がある。また、慢性過敏性肺炎であれば抗原回避が治療における重要な柱となる。したがって PF-ILD の背景疾患の確定は重要である。

しかし慢性過敏性肺炎は診断が難しいケースが多い。問診、胸部 CT 所見、特異抗体の測定などからあたりをつけることになる。生活環境を詳細に聞き取ることが非常に重要である。初診時には診断できなくても、経過観察していく中で過敏性肺炎が疑わしいと気づくときもある。過敏性肺炎が疑わしい場合は抗原回避試験や自宅環境調査を行うことがある。どうしても診断を確定できない場合には肺生検を行う場合もある。1 ~ 数 cm 大の肺組織を採取する必要があるため、従来は全身麻酔による胸腔鏡下肺切除を行っていたが、近年クライオバイオプシーが臨床導入され、気管支鏡でも十分量の肺組織を採取することが可能となった。

本症例では、鳥接触歴、抗鳥抗体陽性、胸部 CT における小葉中心性粒状影、抗原回避陽性などから、鳥関連慢性過敏性肺炎と診断した。診断は間違いないと考えられたので肺生検は不要と判断した。残念ながら抗原回避が不十分であったために、線維化の進行を十分には抑制できていないが、今後改めて抗原回避を徹底していく方針である。

(図 1)

初診時胸部 CT：気腫性変化とともに、小葉中心性粒状影を認める。



### ◇学術講演会予定

令和 6.2.14

開催日	開始～終了時間	会場	単位数	CC	集会名称・演題	講師（役職・氏名）
3/11 (月)	19:00 ～ 20:30	【Web 講演】	1.5	11 31	学術講演会 「気象病と頭痛を考える」 演題「気象関連頭痛に対する治療戦略」  演題「Brain health を意識した片頭痛診療をめざして」	公立福生病院 脳神経外科 診療部部长 福永篤志 先生  東京歯科大学市川総合病院 神経内科部長・教授 柴田 護 先生
3/14 (木)	19:30 ～ 20:30	Web 配信 (Webex) 又は、 西多摩 医師会館	2		西多摩パネルディスカッション 【テーマ：頭痛に関して】	市立青梅総合医療センター 耳鼻咽喉科・頭頸部外科部長 得丸貴夫 先生  公立福生病院 脳神経外科 診療部部长 福永篤志 先生  公立阿伎留医療センター 内科 河村実穂 先生
3/18 (月)	19:30 ～ 20:30	【Web 講演】	1	4	学術講演会 西多摩医師会「在宅医療漢方セミナー」 演題「在宅医療でこそ使える漢方薬」	給田ファミリークリニック 副院長 樫尾明彦 先生

# 糖尿病医療連携検討会からの今月のメッセージ

## 西多摩地域糖尿病医療連携検討会

平素より当検討会の事業にご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。当検討会では2018年度より会員の皆様に、医師会報を通して糖尿病診療に役立つヒントを得て頂ければと願い「糖尿病診療を再考する症例」をテーマに【糖尿病専門医による症例提示】を企画しております。今回は、市立青梅総合医療センター 内分泌糖尿病内科 加計 剛 先生に症例提示をお願いいたしました。皆様の日頃の糖尿病診療の一助となりましたら幸いに存じます。

### 【SGLT2阻害薬による正常血糖ケトアシドーシスを来した1例】

市立青梅総合医療センター 内分泌糖尿病内科

加計 剛 先生

【症例】 46歳 男性

【主訴】 嘔吐

【現病歴】

2011年に健診で糖尿病を指摘されて当院での教育入院を経て近医で内服による加療を継続されていた。

入院6日前から食思不振を認め、入院前日昼頃から10回/日以上嘔吐を繰り返したがその間経口血糖降下薬の内服は継続していた。近医を受診し点滴をされ帰宅したが、その後も症状の改善が無いため当院救急外来を受診した。その際の血液検査で代謝性アシドーシス (pH:7.241、CO<sub>2</sub>:19.6mmHg、HCO<sub>3</sub>:8.2mmol/l、AG:23.5mmol/l)、であり、随時血糖は187mg/dlであった。SGLT2阻害薬を内服していたことから正常血糖ケトアシドーシスが疑われ、同日当科入院となった。

【既往歴】 2型糖尿病、うつ病、高血圧症

【内服薬】 メトホルミン 500mg、ダパグリフロジン 5mg、ビルダグリプチン100mg/メトホルミン500mg塩酸塩、イルベサルタン100mg/アムロジピンベシル酸塩13.87mg、アトルバスタチン 10mg

【家族歴】 父：糖尿病、大腸癌

【入院時所見】 [身長] 167.1cm [体重] 97.2kg [BMI] 34.8kg/m<sup>2</sup>

[体温] 37.6℃ [脈拍] 125回/分 [血圧] 157/100mmHg [SpO<sub>2</sub>] 98% (RA)

[呼吸] 頻呼吸でKussmaul呼吸様、ケトン臭は明らかでない

[頭頸部] 眼瞼結膜貧血 (-)、眼球結膜黄染 (-)、頸部リンパ節腫脹 (-)

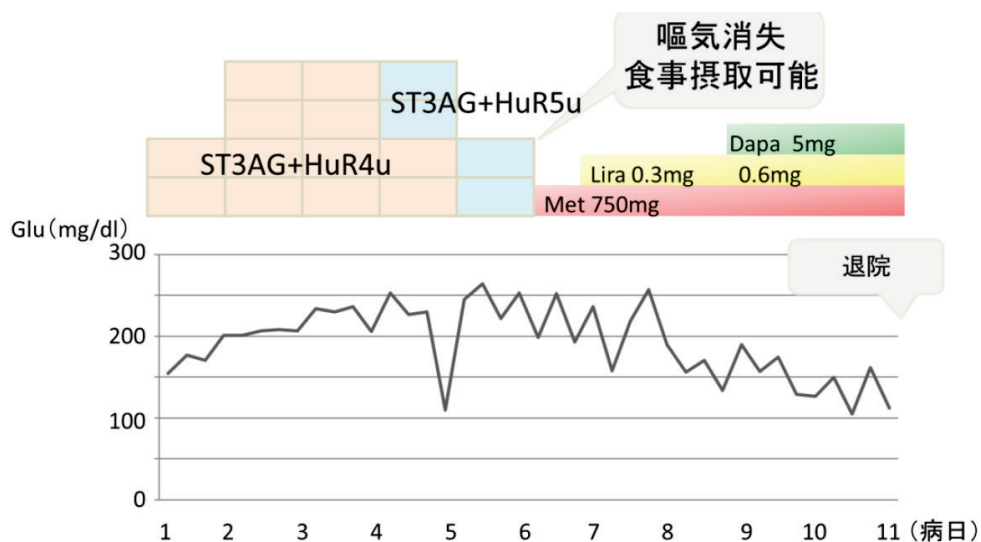
[胸部] 心音：I → II → III (-) IV (-)、no murmur、呼吸音：清

[腹部] 膨満・軟、自発痛 (-)、圧痛 (-)、グル音正常、CVA叩打痛 -/ -

[四肢] 浮腫 (-) [神経所見] 振動覚：上肢内果 11/11 sec 下肢内果 9/9 sec 触覚：感覚低下 (-)、異常感覚 (-) 深部腱反射：正常

【血液尿検査所見】[尿定性]蛋白3+,糖3+,ケトン3+[血算]WBC 13000/ $\mu$ l,RBC555 $\times$ 104/ $\mu$ l,Hb 15.8g/dl,Plt 20.5 $\times$ 104/ $\mu$ l [生化学]Alb 5.0g/dl,AST 22IU/l,ALT 14IU/l,BUN 13.6mg/dl,Cre 0.82mg/dl,Na 136 mEq/l,K 4.3 mEq/l,Cl 105 mEq/l,Ca 8.8 mEq/l,血糖183 mg/dl,HbA1c 9.0 %,CRP 0.17 mg/dl,  
[血ガス(動脈血)] PCO<sub>2</sub>19.6mmHg,PO<sub>2</sub>116.3mmHg,pH 7.241,HCO<sub>3</sub>8.2mmol/l, [ケトン体分画]総ケトン体 7760mmol/l,アセト酢酸 2150mmol/l,3-ヒドロキシ酪酸 5610mmol/l

### 【治療経過】



### 【考察】

正常血糖ケトアシドーシスとは血糖値が200mg/dl未満の軽度の高血糖症を特徴とするケトアシドーシスのことで1型糖尿病, 2型糖尿病どちらでも発症することがある。

治療として加糖輸液とインスリン使用による迅速な脱水の補正、電解質異常の補正、アシドーシスの正常化が挙げられる。診断や治療が遅れやすいため、悪心・嘔吐、腹痛、全身倦怠感を訴えるSGLT2阻害薬を内服している患者には定期的なケトン体測定が勧められている。

本症例では追加病歴で「診察日前だったので1週間前から意図的に炭水化物を取らないようにしていた、少しでも良い血糖値で採血したかった」との患者の思いが確認された。SGLT2阻害薬内服中の患者では糖質制限をしないように改めて指導が必要であると思われた。

### 【参考文献】

- Leonid Barski et al; European Journal of Internal Medicine, Volume63,May 2019;9 14
- SGLT2 阻害薬の適正使用に関する委員会



# 広報だより

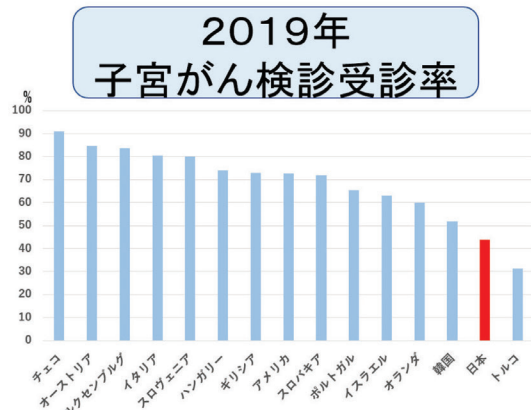
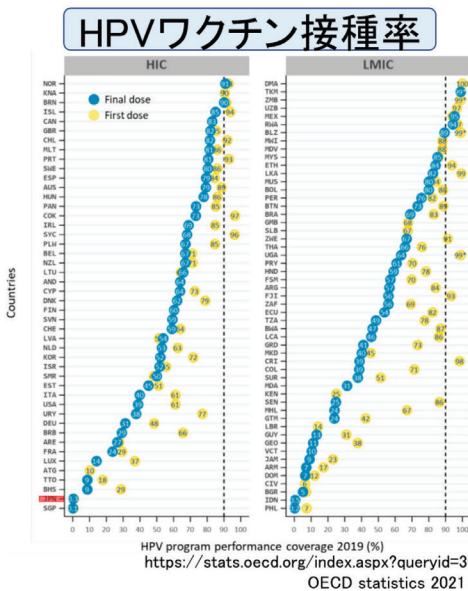
## 「青梅子宮頸がん撲滅プロジェクトから西多摩 子宮頸がん撲滅プロジェクトを目指して！」

新町クリニック 院長 神應 知道

健康診断、産業医、内科外来を生業としている私は、2023年度、「子宮頸がん撲滅へのチャレンジ」をテーマに掲げています。元救急集中治療医の私がなぜこのテーマに取り組むようになったのか、そしてなぜ今子宮頸がんなのか、その理由と対策について皆様と共有したいと思います。

2020年の新型コロナウイルスの流行時に元救急集中治療医としての自分の役割を果たせないことに対して大きな悔しさを感じました。しかし、ワクチン接種が始まり、クリニックでの活動を通じて再び社会に貢献できる場が与えられました。その中でHPVワクチンの積極的勧奨再開情報を受け、子宮頸がんについて学び始めました。

驚いたのは、子宮頸がんが撲滅可能な疾患であるという事実でした。しかし、日本では子宮頸がんの罹患、死亡率が上昇しており、その理由はHPVワクチン接種率と検診の受診率が低いことにあります。



Prev Med. 2021;144:106399.

そこで、私は2023年7月に青梅子宮頸がん撲滅プロジェクトを院内で立ち上げました。このプロジェクトでは、まずは当院内で子宮頸がん撲滅に取り組むんだということを職員に周知徹底

し、ワクチン接種率、検診受診率を増やす取り組みを行っています。そして、院内を飛び越え、ワクチン接種と検診の重要性を啓発し、地域社会での取り組みを強化していきます。院内受診者への啓発活動、地域中学校のがん教育の授業、産業保健先企業に対するセミナー、動画発信、研究費委託へのチャレンジを始め、今後は、2024年9月までにワクチン1回目接種をしないと間に合わなくなるHPVワクチンのキャッチアップ接種について大学病院と連携した市民公開セミナーも企画中です。

この原稿を読んで、興味を持った方々には、下記のQRコードから産業保健交流会の動画を見ていただければと存じます。私の「子宮頸がん撲滅へ向けてのチャレンジ」の動画はその3、その4でアップ中です。

最後にこの原稿を通じて、青梅子宮頸がん撲滅プロジェクトが西多摩子宮頸がん撲滅プロジェクトになる最初の一步になったことを大変嬉しく思っております。一緒に子宮頸がんの撲滅に向けて行動していただける仲間を募集しておりますので気軽にお声掛けいただけますと幸いです。



連載企画

## アップルの Vision Pro とは？

きくち耳鼻咽喉科クリニック 菊池 孝

今年2月2日、米国においてアップルはApple Vision Proを発売した。まず昨年6月5日にこの製品についてプレリリースが出た。そこでは「デジタルコンテンツを現実の世界とシームレスに融合しながら、実世界や周囲の人とのつながりを保つことができる革新的な空間コンピュータ」と説明された。さらに説明は続く「Vision Proは、従来のディスプレイの枠を超えて広がるアプリのための無限のキャンバスを作り出し、ユーザーの目と手、声という、最も自然で直感的な操作方法によって、完全に3次元化されたユーザーインターフェイスを実現します。世界初となる空間オペレーティングシステム、vision OSを搭載したVision Proにより、まるでデジタルコンテンツが自分のいる空間に物理的に存在しているかのように楽しむことが可能となります。画期的なデザインを備えたVision Proの大きな特長は、あらゆる体験がユーザーの目の

前でリアルタイムに起こっているように感じさせる、2つのディスプレイに2,300万ものピクセルを詰め込んだ超高解像度のディスプレイシステムと、独自に設計されたデュアルチップを備えたカスタムの Apple シリコンを搭載していることです。」

何を言っているか全くチンプンカンプンだと思います。この商品はまず米国で先行発売され、日本でいつ発売されるかは未定です。米国で3500ドル（約52万円）からという価格は気軽に買える物ではないと思いますが、ガジェット系 YouTuber をはじめ、新しい物好きな方や、IT系のライターなどはハワイに渡って早速購入されています。その実物と実際の感想が多数 YouTube にアップされています。百聞は一見にしかずとはこのことで、ぜひ動画を見て下さい。見ないことにはこの商品は理解しがたいでしょう。本当は実際に装着して体感しないとこの商品は理解できない気がします。早く日本発売になって、日本のアップルストアで体験できることを待ち望んでいます。YouTube にアップされている動画ではゴーグルを被り、指で操作している使用者の奇妙な姿を見ることができます。

画面内のイメージとしては、マルチスクリーンを使用している感覚に似ていると個人的にはイメージしています。現在1台のノート PC や1台のデスクトップ PC に1つのモニターしか使用していない方は、この商品の価値は分からないでしょう。現在既に1台の PC に4つくらいモニターを接続して、よくトレーダーが見ているような様々な情報を各モニターにふり分けて使用されている方にこそこの商品の価値があるように思います。自宅にいる時はそのようなマルチモニターを使用しても、出張などでノート PC しか持って行かないとモニターは1つになります。しかし、ノート PC と Vision Pro を接続して Vision Pro を使用すると、目の前にマルチスクリーンを映し出すことが可能なはずです。そうすれば Vision Pro だけで作業できるようになるし、自宅のマルチスクリーンもそのうち不要になる時代がくると考えられます。攻殻機動隊というアニメ作品があります。近未来が舞台のアニメ作品です。そこでは電腦が存在し、メールなどの連絡が来るとゴーグルもなしで、自分の脳内スクリーンに情報が展開されるという世界を描いていました。ゴーグルを付ける必要はありますが、ゴーグル内での映像は攻殻機動隊で見た世界そのものような気がします。

iPhone の日本での発売は2008年でした。当時はガラケー全盛期で iPhone のようなスマートフォンは日本では売れないと思われていました。しかし、現在はどうでしょう。この10年あまりのうちにスマホが全盛となりました。今ではスマホがないと生活が成り立たない状態だと思います。iPhone も発売当初は色々と未完成なところがありましたが、毎年着実に進化して今日があります。今回の Vision Pro もスマホと同様に直ぐに世界に普及するような商品ではないと考えますが、量産化で価格が下がり、商品が小型化し、ある時点で爆発的に世の中に広まる可能性があります。今回はそんな未来を感じさせる商品が発売になったというさわりの話です。日本発売をワクワクしながら待ちたいと思います。

**理事会報告**

★ Information

**12月定例理事会****令和5年12月26日(火)****西多摩医師会館**

(出席者：進藤(幸)・古川・進藤(晃)・田中・土田・井上・下村・鈴木・津田・三ツ汐・湯田・野口・近藤) 下線は Web 参加

**【1】報告事項****(1) 都医地区医師会長連絡協議会報告**

資料により、12/15 に開催された標記協議会における都医からの伝達事項等について説明・報告

**(2) 各部報告**

特になし

**(3) 地区会報告(各地区理事)：**

特になし

**【2】報告承認事項****(1) 入退会会員、会員異動について**

資料により、準会員1名の入会申請が紹介・報告され承認された  
また、準会員1名の退会申請が報告された

**(2) 令和6年度日の出町立小・中学校医の推薦について****令和6年度日の出町立小・中学校眼科検診医の推薦について**

日の出地区より資料にある現在の学校医・検診医の先生を推薦することが要望・提案され承認された

**【3】協議事項****令和6年度学校医等各種報酬及び予防接種委託料について(最終案)**

資料として、標記に係る行政との交渉結果(最終案)が報告・提案され可決承認された

**1月定例理事会****令和6年1月23日(火)****西多摩医師会館**

(出席者：進藤(幸)・古川・進藤(晃)・田中・土田・井上・下村・鈴木・津田・三ツ汐・湯田・野口・近藤) 下線は Web 参加

**【1】報告事項****(1) 都医地区医師会長連絡協議会報告**

資料により、1/19 に開催された標記協議会における都医からの伝達事項等について説明・報告

**(2) 各部報告**



総務部： 2/3に開催予定の「医療懇話会」に係る出欠等の再確認

(3) 地区会報告（各地区理事）：

青梅市 1/12に新年会開催

福生市 1/22に新年会開催

あきる野市 1/12理事会、1/15例会開催

(4) その他報告：

資料等により、1/11に開催された「第1回 西多摩医療提供体制懇話会」の内容・状況等について報告

日の出町では、今秋からのコロナワクチン接種を高齢者インフルエンザ同様の八市町村相互乗り入れ方式としたい旨の意向があるとの報告。各地区持ち帰っての検討を依頼

## 【2】報告承認事項

(1) 入退会会員、会員異動について

資料により、正会員1名、準会員1名の入会申請が報告・紹介され可決承認された  
また、正会員1名、準会員1名の退会及び異動届3件が報告された

(2) 令和6年度市立保育園嘱託医（内科医）の推薦について（依頼）

標記依頼については、地区会にて調整が済んでいることから、資料にある医師を推薦することが提案され承認された

(3) 2024年度「診療報酬請求書」の提出日について

資料により、標記提出日（案）が示され承認された

資料により、保険講習事務受託事業の内容変更に係る都医からの通知内容等が説明され、従来の委員会名称が求められていることから「保険指導整備委員会」を「医療保険委員会」に名称変更する必要性が説明・報告され承認された

## 【3】協議事項

(1) 「2024年度 事業計画（案）」について

資料（2024年度事業計画案）により今年度との相違点等説明、各理事持ち帰り確認検討を依頼、修正点等あれば事務局に連絡し、次回理事会において再協議のうえ決議することとした

(2) 令和5年度東京都在宅医療推進強化事業及び窓口委託契約について

資料により、すでに試行実施されている標記事業に係る計画・予算、東京都の承認・補助金額等説明

3年間の事業実施に係る承認が求められ可決承認された

また、業務の一部（窓口業務等）を訪問看護ステーションに委託を必要とするため、委託先との契約書ひな形が示され、持ち帰り内容等検討の上、次回理事会にて3か所の対象先との契約締結について再度検討・協議することとした

(3) 令和6年能登半島地震への医療支援について（お願い）

資料により、標記に係る都医を通じた日医からの依頼内容が説明され対応を協議

2/9を期限として会員からの支援を募り総額を確認の上、次回理事会にて当会の支援額を決定し支援することとした

**2月定例理事会**

令和6年2月13日(火)

西多摩医師会館

(出席者：進藤(幸)・古川・進藤(晃)・田中・土田・井上・下村・鈴木・津田・三ツ汐・湯田・野口・近藤) 下線は Web 参加

**【1】 報告事項****(1) 各部報告**

総務部： 2/3 に開催された「西多摩医療懇話会」の状況等について

学術部： 2/9 に開催された「臨床報告会」の状況等について

**(2) 地区会報告(各地区理事)：**

前回理事会で紹介された、今秋からのコロナワクチン接種を西多摩地区相互乗り入れ方式とする意向への各地区の対応・意見を報告

青梅市 詳細が定まっておらず現段階での対応・意見はない

福生市 ワクチンのバイアルがどうなるかが決まってから考えたい

羽村市 基本的には賛成、事務作業のデジタル化が望まれるとの意見あり

あきる野市 詳細がわからないと決められない

瑞穂町 特に意見等なし

奥多摩町 賛成

日の出町 各市町村で何人くらいの先生が協力してくれるか調査するとのこと

**【2】 報告承認事項****(1) 入退会会員、会員異動について**

資料により、正会員1名、準会員13名の入会申請が紹介・報告され承認された  
また、準会員7名の退会及び異動届2件が報告された

**(2) 令和6年度 町立小・中学校の学校医の推薦について(依頼)**

令和6年度 町立小・中学校の学校眼科医の推薦について(依頼)

令和6年度 町立小・中学校の学校耳鼻科医の推薦について(依頼)

上記3件の依頼(瑞穂町)については、地区会にて調整が済んでいることから、資料にある医師を推薦することが承認された

**(3) 令和6年度あきる野市立小・中学校学校医(内科医・精神科医)の推薦について(依頼)**

標記依頼については、地区会にて調整が済んでいることから、資料にある医師を推薦することが承認された

**(4) 令和6年度檜原村小・中学校耳鼻咽喉科及び眼科検診の承諾について**

標記につき依頼内容(資料)の通り承諾することが承認された

**【3】 協議事項****(1) 「2024年度の事業計画」(案) について**

前回理事会以降に検討された最終計画案(資料)について修正内容等が説明され協議、示された事業計画案の通り可決承認された(各事業担当理事に新規事業・大幅な予算の変更等は2/27までに事務局に通知が依頼された)

## (2) 令和6年度東京都在宅医療推進強化事業に係る窓口委託契約について

前回理事会以降に検討された標記委託契約案(資料)について修正内容等が説明され協議、示された案の通りで3カ所の委託先との契約締結が承認された

## (3) 令和6年能登半島地震への医療支援について(お願い)

会員からの支援金総額(15件206万円)が紹介され、当会としての支援額について協議、まだ振り込む予定の先生がいることから、当会からの支援額については、今後の会員からの支援金総額を勘案し総額250万円となることを基本として、会長に一任することが提案され可決承認された

## (4) 「西多摩医療提供体制懇話会 設置要綱」について

資料により、標記要綱案が説明され、各自持ち帰り次回理事会までに検討の上再度協議することとした

## 会員通知

- 会報1-2月号
- 宿日直表(青梅・福生・阿伎留)
- 学術講演会(1/17、2/7、2/8、2/15、2/28)
- 産業医研修会(三鷹市医師会3/16)
- 令和6年能登半島地震への医療支援について(お願い)
- 西多摩医師会在宅医療強化支援事業についてアンケート調査
- 第21回西多摩医師会臨床報告会のご案内及び演題募集について(2/9)
- 令和5年度第2回西多摩医師会在宅医療講座(3/4)開催案内
- 西多摩医師会脳卒中医療連携検討会「市民公開講座」(3/30)開催案内
- 「糖尿病合併症を理解するための勉強会(歯科医師)」(2/8)開催案内
- 医療保険委員会からのお知らせ(オンライン請求への移行を促進する為の周知広報資料等の送付について他)
- 市立青梅総合医療センターより がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会(2/17)開催案内
- ” 地域医療連携懇話会(3/6)開催案内
- 公立福生病院より 公立福生病院病診連携講演会(2/16)開催案内
- 公立阿伎留医療センターより 病診連携講演会(3/5)開催案内
- 西多摩歯科医師会より 公開講演会(オンライン開催)(3/2)開催案内
- 外来感染対策向上加算・地域連携合同カンファレンス【合同訓練】(1/16) Web開催(昭和の杜病院より配信)
- 外来感染対策向上加算・地域連携合同カンファレンス(1/17) Web開催(公立福生病院より配信)
- 外来感染対策向上加算・地域連携合同訓練(2/13) 於:西多摩保健所
- 発熱患者対応について
- 「がん治療連携指導料」の施設基準届出に係る連携保険医療機関の新規追加及び届出内容の変更等について(令和6年4月1日算定)
- 高齢者インフルエンザ請求書の提出期限について
- 公費負担の手引
- 2024年度診療報酬請求書提出日一覧表
- 市立青梅総合医療センターだより
- 令和5年度予防接種関連ポスター及びリーフレット(風しん・HPV)
- 都立小児総合医療センターだより
- 学校医会報
- 保険医療機関・保険薬局におけるオンライン請求の推進、訪問看護ステーションにお

- けるオンライン資格確認・オンライン請求の開始・義務化および居宅同意取得型のオンライン資格確認に実装される再照会による資格確認について
- 今冬の感染拡大に備えた抗原定性検査キットの有償配布の実施について（情報提供）
- 「「オンライン診療の適切な実施に関する指針」に関する Q&A について」の改訂について
- 年末年始における休日加算等の取扱いについて
- オンライン請求への移行を促進するための周知広報資料等の送付について
- ジェネリック医薬品差額通知及び啓発リーフレット（第 2 回）の送付に伴う周知について
- 生活保護法による医療扶助におけるオンライン資格確認の導入について
- 令和 4 年度指導検査報告書について（掲載のご案内）
- 冬季の省エネルギーの取組について（周知依頼）
- 「実地医家における高齢ドライバーへの指導研修会」の開催について
- 令和 5 年度ぜん息治療講演会における講演動画および資料の掲載について
- 「東京在宅医療塾」シンポジウム～地域医療のニーズの変化にキャッチアップせよ～の開催について
- 東京都による医療措置協定についてのオンライン説明会について
- こどもの誤飲事故防止に向けた啓発活動へのご協力をお願い
- 令和 5 年度「小児等在宅移行研修」（多職種合同研修）の案内送付について
- 石綿健康被害救済制度の周知と医療記録等の取扱いについて
- 「令和 5 年度中皮腫の診断精度向上のための講習会」のご案内
- インボイス制度に関する周知等について
- 労働基準法施行規則及び労働時間等の設定の改善に関する特別措置法施行規則の一部を改正する省令等の施行等について（無期転換ルール及び労働契約関係の明確化等）
- 「重篤副作用疾患別対応マニュアル」及び紹介ポスターのホームページ掲載について
- 令和 6 年度介護報酬改定率について
- 令和 6 年度診療報酬改定率について
- 年末年始における休日加算等の取扱いについて（訂正）
- 東京都が作成したプレコンセプションケアに係る都民向け普及啓発資料の周知について（依頼）
- 令和 5 年度 東京都麻しん・風しん予防対策事業 医療従事者向け研修会の開催について
- 受動喫煙対策に係る普及啓発のポスターについて
- 令和 5 年度がん検診受託機関講習会（オンライン）の開催について
- 自動体外式除細動器（AED）設置登録情報の適切な更新等について（再周知）
- 日医総研「欧州医療調査報告会」開催について
- 「コロナ・インフルエンザ WEB+」システムのお知らせとご協力のお願について
- 「エムボックス 診療の手引き 第 1.0 版」の周知について
- HPV ワクチン接種に係る医療機関向け研修会の開催について
- 感染対策のための実地での研修に係る令和 5 年度における募集について
- 「第 29 回日本災害医学会総会・学術集会」の開催について
- 令和 5 年度「日本医師会生涯教育講座」の追加開催について
- 第 4 回 TMA 医療会議の開催について
- 「アルツハイマー病の新しい治療薬に関する情報の周知について」の送付について
- 独立行政法人福祉医療機構による医療貸付事業融資制度利用希望者に対する個別融資相談会の開催について
- 暗証番号の設定が不要なマイナンバーカードへの医療機関・薬局での対応について（周知依頼）（その 2）
- ファイザー社ワクチン、モデルナ社ワクチン及び第一三共社ワクチンの有効期限の取扱いについて



- 都内における A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の流行に係る情報提供等について
- 令和 5 年度動物由来感染症対策技術研修会における質問とその回答について
- 令和 5 年 12 月末日をもって終了する診療報酬上の特例措置について
- 令和 5 年度地域小児医療研修事業（第 1 回小児救急研修会）の実施について
- 令和 5 年度医療機関における外国人患者対応支援研修（基礎編）の開催について
- 令和 5 年度厚生労働省委託事業「外国人患者受入れ医療コーディネーター養成研修」の実施について
- 「若年性認知症企業向け研修会」の開催について
- 人生会議（ACP: アドバンス・ケア・プランニング）普及啓発用ポスター及びシンポジウムのアーカイブ配信について
- 令和 6 年能登半島地震における東京都医師会の対応について～JMAT 関連～
- 医療情報システム安全管理ガイドラインの解説資料について
- 令和 5 年度東京都 ACP 推進事業 医療介護関係者向け研修の開催について
- 令和 5 年度東京都後発医薬品安心使用促進に係る医療関係者向け講演会の開催について
- 医療事故調査制度研修会の開催について
- 医療措置協定（診療所）に係るご意見について（東京都からの回答）
- 令和 5 年度東京都麻しん・風しん予防対策事業 医療従事者向け研修会の開催について（再周知）
- 書面及び光ディスク等による請求の継続に係る届出について
- 電子レセプトの請求に併せ「紙媒体等で提出される資料」の取扱いの変更について（お知らせ）
- 医療扶助オンライン資格確認の導入経費に係る助成金申請期間の変更のお知らせについて
- 厚生労働科学研究「医療現場における医療 AI の導入状況の把握、及び導入に向けた課題の解決策の検討のための研究」に関連する医療 AI 製品のアンケートについて
- 石川県能登地方を震源とする地震に伴う予防接種の取扱いについて
- エムボックスに関する情報提供及び協力依頼について
- 乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン及び乾燥弱毒生麻しんワクチンの製造販売者による自主回収への対応について
- 令和 6 年能登半島地震に伴う災害の被災者に係る保険医療機関等における一部負担金等の取扱いについて
- 令和 6 年能登半島地震に伴う災害の被災者に係る保険医療機関等における一部負担金等の取扱いについて（その 3）
- 公益財団法人日本医療機能評価機構 医療事故情報収集等事業第 75 回報告書の公表について
- 食中毒の発生について
- 「都民健康講座」開催の周知依頼について
- 医療機能情報提供制度の医療機関等情報支援システムにおける病院等の所在地の入力について
- 令和 5 年度医療機能情報の定期報告について
- 令和 5 年度「日本医師会生涯教育講座」の追加開催について
- 令和 6 年能登半島地震におけるオンライン診療を実施するための研修受講の取扱いについて
- 令和 6 年能登半島地震に伴う災害の被災者に係る保険医療機関等における一部負担金等の取扱いについて（その 5）
- 令和 5 年度医療従事者ネットワーク講演会（第 2 回）の開催について
- 令和 6 年能登半島地震にかかる災害の被災者に係る公費負担医療の取扱いについて（その 2）
- 令和 5 年度東京都医療機関等物価高騰緊急対策支援金（下半期分）の実施について
- 「健康づくりのための身体活動・運動ガイド 2023」について
- 「東京慈恵会医科大学附属病院 医療連携フォーラム」の開催周知について（ご依頼）
- 厚生労働省作成「医師の働き方改革にかか

- る立入検査に関する説明資料 および説明動画」の公開について（ご案内）
- 令和5年度ぜん息治療講演会における講演動画および資料の掲載について（再周知）
  - 都保健所の体制・機能の強化について
  - 「第2回小児結核セミナー」の開催について（情報提供）
  - 医療事故情報収集等事業「医療安全情報」の提供について
  - 複数の診療所の管理について
  - 令和6年能登半島地震に伴う災害の被災者に係る保険医療機関等における一部負担金等の取扱いについて（その6）
  - 新型コロナウイルス感染症の入院医療体制（段階）について
  - 「新型コロナウイルス感染症後遺症オンライン研修会」収録動画の公開について
  - 東京都肝疾患診療連携拠点病院が実施する研修の御案内について
  - 令和5年度地域小児医療研修事業（第2回小児救急研修会）の実施について
  - 令和5年度児童虐待対応研修【専門講座第5回】の開催について
  - 令和5年度世界結核デー記念行事講演会「結核と新型コロナウイルス感染症」～新型コロナウイルス感染症パンデミックを契機に感染症について考えよう～
  - 令和5年度東京都在宅療養推進シンポジウム「超高齢社会の食を支える～在宅療養における食支援について～」の開催について
  - 日本医師会認定産業医・健康スポーツ医制度における研修会の開催予定について
  - 特定疾患療養管理料（脂質異常症・高血圧・糖尿病）に代わる管理料の新設について
  - 被保険者資格の有効終了日等の表示について（オンライン資格確認）
  - 「オンライン診療の適切な実施に関する指針」に関するQ&A」の改訂について

## 医 師 会 の 動 き

		令和6年2月16日現在	講演会・その他	
医療機関数	192	病院	28	1月9日 医療保険委員会（整備会）
		医院・診療所	164	11日 法律相談
会 員 数	522	正会員	209	11日 「糖尿病合併症を理解するための勉強会（眼科専門医）」（Web）
		準会員	313	《講演》
会 議				演題：「糖尿病の眼合併症について」
1月11日	西多摩医療提供体制懇話会			演者：かごしま眼科クリニック 院長 鹿児島武志 先生
18日	在宅難病訪問診療調整委員会			
23日	定例理事会			17日 学術講演会
24日	在宅医療推進強化支援事業会議			『西多摩 infection conference』
2月3日	西多摩地区医療懇話会			《講演》
8日	在宅難病訪問診療（青梅市）			演題：「冬季における発熱診療アップデート－COVID-19およびインフルエンザを中心として－」
13日	定例理事会			演者：グローバルヘルスケアクリニック 院長 水野 泰孝 先生
15日	第4回西多摩地域糖尿病医療連携検討会			26日 「糖尿病教室」（書面開催）
19日	広報部会（会報編集）			講義1：「糖尿病の眼合併症について」 鹿児島武志先生
27日	定例理事会			

- 講義2：「防災の心得」  
内田せつ子先生
- 2月7日 学術 Web 講演会（ハイブリッド）  
『第53回青梅心電図勉強会』  
《講演》  
演題：「大動脈弁狭窄症と当院でのTAVI導入に向けての取り組み」  
演者：市立青梅総合医療センター循環器内科 阿部 史征 先生
- 8日 医療保険委員会（整備会）
- 8日 学術 Web 講演会（ハイブリッド）  
『胃癌病診連携講演会』  
《一般講演》  
講演 I  
演題：「当院における胃癌診療～HER2陽性胃癌化学療法を含めて～」  
演者：市立青梅総合医療センター外科副部長 平野 康介 先生  
講演 II  
演題：「胃癌に対するロボット支援下手術」  
演者：東京都都立多摩総合医療センター 呼吸器・一般外科 医長 石橋 雄次 先生
- 8日 「糖尿病合併症を理解するための勉強会（歯科医師）」（ハイブリッド）  
《講演》  
演題：「歯科から見た歯周病と糖尿病の関係」  
演者：高野歯科クリニック 院長 高野 真 先生
- 9日 第21回「西多摩医師会臨床報告会」西多摩医師会館 + Web 配信  
《講演》  
司会・座長：西多摩医師会学術部長 下村 智 先生  
(1) 2型糖尿病の治療経過中に緩徐進行1型糖尿病様の経過で糖尿病性ケトアシドーシスに至った1例
- 市立青梅総合医療センター 内分泌糖尿病内科 宮村 慧太郎 先生  
(2) 肩関節脱臼の画像診断  
公立福生病院 整形外科 吉田 勇樹 先生  
(3) 鮎の魚骨による小腸穿孔を来した一例  
公立阿伎留医療センター 外科 姫川 昊 先生
- 15日 法律相談
- 15日 学術 Web 講演会  
《講演》  
演題：「便秘診療の”今”を考える～超高齢社会における最適な便秘診療とは～」  
演者：東海大学医学部 内科学系消化器内科学 教授 鈴木 秀和 先生
- 26日 「糖尿病教室」（書面開催）  
(予定) 講義1：「糖尿病と心臓の関係について」栗原 顕 先生  
講義2：「未定」内田せつ子 先生
- 28日 学術 Web 講演会  
『人生100年時代のQuality of Life電解質管理を考える会』  
《Special Session》  
演題：「いま一度考えたい、高カリウム治療の意義～ロケルマ処方 のTIPsとは～」  
演者：東京医科歯科大学病院 血液浄化療法部 助教 森 崇寧 先生  
《Discussion Session》  
演題：～腎臓内科医・循環器内科医が実践している～日常診療にみる高カリウム血症へのアプローチ  
パネリスト：市立青梅総合医療センター 腎臓内科 医長 河本 亮介 先生
- 国家公務員共済組合連合会 立川病院 循環器内科 医長 石橋 雄次 先生

**役員出張**

1月13日 西多摩歯科医師会新年会  
 19日 地区医師会長連絡協議会  
 24日 第2回東京都地域医療構想調整会議  
 25日 令和5年度摂食嚥下機能シンポジウム  
 2月1日 西多摩地域保健医療協議会「地域医療システム化推進部会」  
 9日 令和5年度地区医師会救急担当理事・東京都指定二次救急医療機関代表者合同連絡会  
 15日 第39回西多摩学校保健連絡協議会  
 15日 第5回地区医師会感染症担当理事連絡会  
 16日 地区医師会長連絡協議会  
 16日 多摩ブロック医師会長連絡協議会(会長副会長連絡協議会)  
 26日 多摩ブロック医師会代議員連絡会

氏名 鶴嶋 史哉  
 勤務先 公立福生病院  
 出身校 慶応義塾大学 令和3年3月卒

氏名 吉田 勇樹  
 勤務先 公立福生病院  
 出身校 日本医科大学 平成26年3月卒

氏名 名久井 龍成  
 勤務先 公立福生病院  
 出身校 慶応義塾大学 令和2年3月卒

氏名 佐々木 正史  
 勤務先 公立福生病院  
 出身校 東京医科歯科大学 平成16年3月卒

氏名 清水 綾子  
 勤務先 公立福生病院  
 出身校 三重大学 平成15年3月卒

**【入会会員】(正会員)**

氏名 波多野 嗣久  
 勤務先 (医社) 悠救会 波多野医院  
 出身校 東京医科大学 平成6年3月卒

氏名 須甲 陽二郎  
 勤務先 (医財) 暁 あきる台病院  
 出身校 千葉大学 平成元年3月卒

**【入会会員】(準会員)**

氏名 澤田 朋和  
 勤務先 公立阿伎留医療センター  
 出身校 信州大学 平成20年3月卒

氏名 塚平 真央  
 勤務先 公立福生病院  
 出身校 杏林大学 令和5年3月卒

氏名 植木 奨  
 勤務先 公立福生病院  
 出身校 徳島大学 令和5年3月卒

氏名 山中 聡  
 勤務先 公立福生病院  
 出身校 日本医科大学 平成24年3月卒

氏名 豊崎 光信  
 勤務先 公立福生病院  
 出身校 慶応義塾大学 平成21年3月卒

氏名 岡村 賢  
 勤務先 公立福生病院  
 出身校 日本医科大学 平成28年3月卒

氏名 大寄 芳衣  
 勤務先 公立福生病院  
 出身校 北里大学 令和2年3月卒

氏名 丸茂 正展  
 勤務先 公立福生病院  
 出身校 東海大学 令和3年3月卒

**【退会会員】(準会員)**

氏名 関谷 進一郎  
 勤務先 廃業準会員

氏名 中山 大栄  
 勤務先 ゆしまウイメンズクリニック

氏名 村田 高史  
 勤務先 市立青梅総合医療センター



氏名 今西 晃郎  
勤務先 公立福生病院

【名称変更】  
(新) (医社) 秀三会 栗原医科歯科医院・  
矯正歯科

氏名 内藤 未帆  
勤務先 公立福生病院

(旧) (医社) 秀三会 栗原医院

氏名 高橋 英治  
勤務先 公立福生病院

【医療機関住所変更】  
(医社) 悠救会 波多野医院  
(新) 福生市福生774-13  
(旧) 福生市福生1046 コヤマビル3F

氏名 大澤 至  
勤務先 公立福生病院

【会員種別変更】  
氏名 波多野 嗣久  
勤務先 (医社) 悠救会 波多野医院  
(新) 正会員  
(旧) 準会員

【法人代表者・管理者変更】  
(医社) 悠救会 波多野医院  
(新) 波多野 嗣久  
(旧) 波多野 元久

氏名 波多野 元久  
勤務先 (医社) 悠救会 波多野医院  
(新) 準会員  
(旧) 正会員

【管理者変更】  
(医財) 暁 あきる台病院  
(新) 須甲 陽二郎  
(旧) 伊藤 正秀



## お知らせ

### 保険請求書類提出締切日

令和6年4月(3月診療分) **4月9日(火)** 正午迄  
令和6年5月(4月診療分) **5月9日(木)** 正午迄  
(締切日以前の提出も可能です)

### 法律相談

西多摩医師会顧問弁護士 堀 克己先生による法律相談を  
毎月**第2木曜日 午後2時**より実施いたします。

お気軽にご相談ください。

- ◎相談日 **4月11日(木)**  
**5月9日(木)**
- ◎場所 西多摩医師会館
- ◎内容 医療・土地・金銭貸借・親族・相続問題等民事・  
刑事に関するどのようなものでも結構です。
- ◎相談料 無料(但し相談を超える場合は別途)
- ◎申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。  
(注) 先生の都合で相談日を変更することもあります。

## 2024年度診療報酬請求書提出日一覧表

2024年度（2024年4月～2025年3月）各月の診療報酬請求書提出期限は下記の通りです。

2024年	4月9日（火）	正午まで
	5月9日（木）	//
	6月7日（金）	//
	7月9日（火）	//
	8月8日（木）	//
	9月9日（月）	//
	10月9日（水）	//
	11月7日（木）	//
	12月9日（月）	//
2025年	1月9日（木）	//
	2月7日（金）	//
	3月7日（金）	//

※ 提出期限前でもご提出いただけます。

## 表紙のことば



## 『桜宴』

年年歳歳花相似たり一とは言  
え羽村の春を飾る堰の桜

眞鍋 勉 (羽村市)



## あとがき

令和6年は、北陸の地震・津波に始まり、羽田での衝突事故など、悲しいニュースから始まりました。数日前には、「来年こそは、コロナ禍から立ち直り、いい年になりますように」と誰もが願っていたことを思うと、胸が痛くなります。また寒い中、苦勞をされている人たちのために活躍されている現地の医療従事者の方々には、本当に頭が下がる思いです。

私は、令和6年の始まりを京都で迎えました。年末年始に休日・準夜当番が当たらず、曜日の関係から長めの休みをとれたことから、思い切って京都旅行を計画しました。もともと小学生の娘が教科書で習った寺社を巡る旅行になりましたが、自分にとっても初めて行くところも多く、改めて奥深さを感じました。また年末年始に京都、特に犬連れということもあり、いろいろな工夫が必要でしたが、とても楽しい旅行となりました。

医師は常に患者さんのために働くことを期待されています。私も医師になってからは、年末年始でも外来診療や救急対応に励み、「医師は年末年始でも患者さんの傍で過

ごすもの」なんて考えていました。やがて、現在のクリニックを開院しましたが、その2年後から始まった終わりの見えないコロナ禍に自分の無力さに苛まれる日々を過ごしました。昨年5月にコロナの5類移行を迎えましたが、行動制限の緩和とともに増えるコロナ・インフルエンザその他の患者増加に伴って、自分もスタッフも疲弊が増していくばかりで、クリニックとしての限界を感じました。「これからは、クリニックで可能な範囲内で一生懸命診療していけばよい」と自分を納得させ、休診日はクリニックを離れ、なるべく家族と過ごすようにしています。

最近では、西多摩でもインフルエンザやコロナウイルスによる学級閉鎖が相次いでおり、多くの医療機関ではコロナ禍にも増して、多忙な日々を送っていることと思います。それでも、いつか感染は落ち着くだろうと期待しながら、日々の診療に取り組むしかないのでしょう。そんな日々の中で、家族との幸せな時間が少しでも長く続けばよいと願っています。

あきるの杜ぎずなクリニック 小高 哲郎

一般社団法人 西多摩医師会

令和6年3月1日発行

会長 進藤幸雄 〒198-0042 東京都青梅市東青梅1-167-12 TEL 0428 (23) 2171・FAX 0428 (24) 1615

会報編集委員会

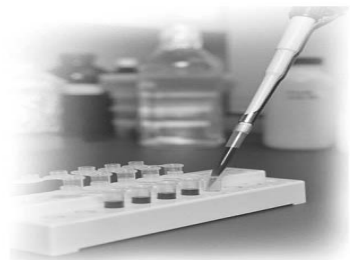
三ツ汐 洋 下村 智 鹿兒島武志 菊池 孝 奥村 充  
馬場 一徳 小高 哲郎 近藤 之暢 古川 朋靖 神應 知道

印刷所 マスダ印刷 TEL 0428 (22) 3047・FAX 0428 (22) 9993

## 生命の輝きをみつめ

“いつの時代も、地域医療とともに”

ひとりひとりの健康で豊かな社会生活を掲げ  
地域に根ざした検査所として歩んできました。  
高度な技術と最新の設備で地域医療の  
さまざまなニーズに対応しています。



登録衛生検査所

株式会社 武蔵臨床検査所

〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢 309-8

TEL; 04-2964-2621 FAX; 04-2964-6659

URL; <http://www.e-musashi.co.jp>